

科目コード	N22301	科目名	フィジカルアセスメント (総論)				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	中井英美子						
授業の概要	フィジカルアセスメントとは、身体的(フィジカル)状態をアセスメントすることであり、看護の対象となる人の健康状態を把握するために必要な技術である。看護におけるフィジカルアセスメントは、対象の身体的状態をアセスメントし、援助につなげていくことが重要となる。本科目では、フィジカルアセスメントは、問診とフィジカルイグザミネーション(視診、聴診、打診、触診)によって行われることを理解し、問診、フィジカルイグザミネーションの実施とその結果得られた情報のアセスメントに必要な知識について学ぶ。また、対象の身体的状態を把握するために基本的なバイタルサインのアセスメントについては、さらに知識を深める内容となっている。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける 豊かな教養を身につける 高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける 地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける 自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける 多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける 社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける 異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける DP: ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針) = 卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	1. 対象者の援助につなげるためのフィジカルアセスメントであることが理解できる 2. 問診、フィジカルイグザミネーション(視診、聴診、打診、触診)とその方法がわかる。 3. バイタルサインのアセスメントに必要な知識を、理解することができる。						
履修上の注意事項							
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	ガイダンス・フィジカルアセスメントと得られた情報について【中井】			【事後学修】フィジカルアセスメントとは何か、情報の種類について復習する		
	2	問診【中井】			【事後学修】問診におけるテクニック、コミュニケーションの方法、情報の確認について復習する		
	3	フィジカルイグザミネーション(視診・聴診・触診・打診)【中井】			【事後学修】打診音、触診時に使用する手の部位、聴診音について復習する		
	4	フィジカルアセスメントの実際【中井】			【事前学修】第1回から第3回の講義を復習して読む 【事後学修】フィジカルアセスメントの実際の流れを理解し、レポートにまとめる		
	5	バイタルサインのアセスメント【中井】			【事前学修】既習のバイタルサイン測定における体温について、テキストや講義資料を読んでくる【事後学修】体温とは何か、体温の調節について、発熱のメカニズム、発熱時の身体の状態とアセスメント、発熱時のケアの根拠について考える		
	6	バイタルサインのアセスメント【中井】			【事前学修】既習のバイタルサイン測定における脈拍について、テキストや講義資料を読んでくる【事後学修】脈拍とは何か、脈拍の調節について、脈拍と心臓について、脈拍が変化するときについて復習する		
	7	バイタルサインのアセスメント【中井】			【事前学修】既習のバイタルサイン測定における呼吸と血圧について、テキストや講義資料を読んでくる【事後学修】呼吸とは何か、血圧とは何か、呼吸・血圧の調節について、呼吸、血圧が変化するときについて復習する		
	8	まとめ【中井】			【事前学修】第1回～第7回の講義資料とこれまで実施した小テストを復習する【事後学修】本時のまとめを再度、復習する		
成績評価方法	期末試験60%、課題20%・まとめの小テスト20%で評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者(出版社)			ISBNコード			
	看護がみえるVol.3 フィジカルアセスメント(1年前期購入済み)						
参考書							
教員からのメッセージ	正常な身体機能に関する知識が必要です。小テスト、講義内容の復習ができるようにしますので、しっかりと講義が終わるごとに復習をしましょう。						
教員との連絡方法	C-learningや授業後に対応します。						
実務経験のある教員							